

製品名: TRAF3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19185**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	64kDa

抗原情報

遺伝子名	TRAF3
別名	TRAF3; CAP1; CRAF1; TNF receptor-associated factor 3; CAP-1; CD40 receptor-associated factor 1; CRAF1; CD40-binding protein; CD40BP; LMP1-associated protein 1; LAP1
遺伝子 ID	7187.0
SwissProt ID	Q13114
免疫原	抗血清はヒト TRAF3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 240-289

背景

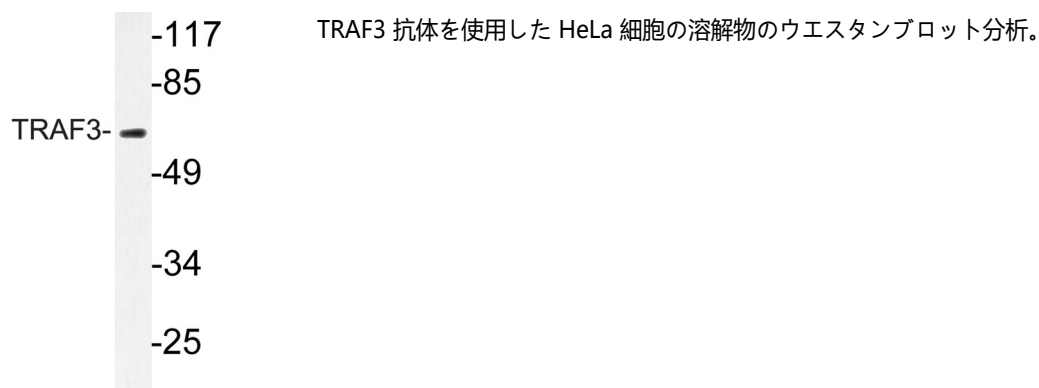
TNF 受容体関連因子 3(TRAF3) Homo sapiens この遺伝子によってコードされるタンパク質は、TNF 受容体関連因子 (TRAF) タンパク

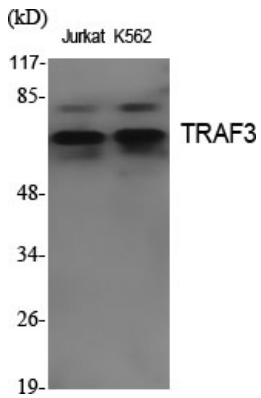
質ファミリーのメンバーです。TRAF タンパク質は、TNF 受容体 (TNFR)スーパーファミリーのメンバーと関連し、シグナル伝達を媒介します。このタンパク質は、免疫応答の活性化に重要な TNFR ファミリーメンバーである CD40 のシグナル伝達に関与しています。このタンパク質は、リンホトキシン β 受容体 (LTbetaR)シグナル伝達複合体の重要な構成要素であることがわかっており、この複合体は、LTbeta ライゲーションによって開始される NF- κ B 活性化および細胞死を誘導します。エプスタイン・バーウイルスによってコードされる潜伏感染膜タンパク質 1 (LMP1) は、これおよび TRAF ファミリーの他のいくつかのメンバーと相互作用することができ、それが LMP1 の腫瘍形成効果に必須である可能性があります。3つの異なるアイソフォームをコードする、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションがいくつか報告されています。 [RefSeq 提供、2010年12月];注意:ここに示す配列は Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備データとして考慮する必要があります。、ドメイン:MATH/TRAF ドメインは受容体細胞質ドメインに結合します。機能:受容体細胞質ドメインおよびキナーゼとの関連により、腫瘍壊死因子受容体ファミリーのメンバーをさまざまなシグナル伝達経路にリンクするアダプタータンパク質およびシグナル伝達物質です。NF- κ B および JNK の活性化およびアポトーシスに関与していると考えられます。結合に関して TNFRSF5/CD40 と競合する TANK/ITRAF によって制御されます。T細胞依存性免疫応答に役割を果たしていると思われます。、類似性:1つの MATH ドメインを含みます。、類似性:1つの RING 型ジンクフィンガーを含みます。、類似性:2つの TRAF 型ジンクフィンガーを含みます。、サブユニット:ホモ三量体 (推定)。 TRAF5 とのヘテロマー (類似性による)。 TNFRSF5/CD40 に結合。 LTBR/TNFRSF3、TNFRSF4、TNFRSF8/CD30、TNFRSF17/BCMA、EDAR、MAP3K5、MAP3K14、TRAF 相互作用タンパク質 TRIP、TRAF および TNF 受容体関連タンパク質 TTRAP と相互作用。 TANK/ITRAF および TRAF3IP1 に結合。 TICAM1 と相互作用 (類似性による)。 OTUD5 と相互作用。

研究分野

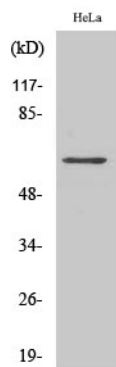
Toll_Like;RIG-I 様受容体;がんにおける経路;小細胞肺がん;

画像データ





TRAF3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



TRAF3 ポリクローナル抗体を用いた COLO205 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。